



Count on it.

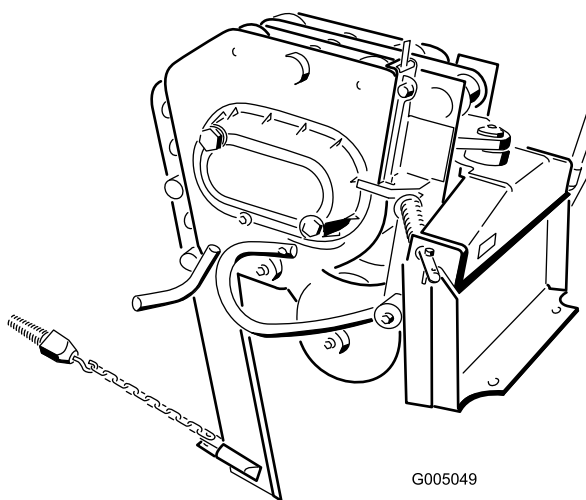
Form No. 3458-141 Rev A

オペレーターズマニキュアル

振動プラウ

コンパクトツールキャリア用

モデル番号 22911—シリアル番号 404320000 以上



G005049

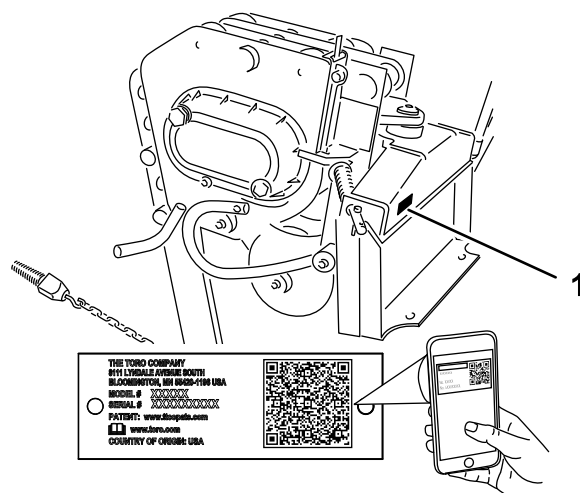


この製品は、関連するEU規制に適合しています 詳細については、DOC シート規格適合証明書をご覧ください。

▲ 警告

カリフォルニア州 第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとしております。



g245687

図 1

1. モデル番号とシリアル番号の表示場所

モデル番号 _____
シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号 図 2 を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。



図 2

g000502

1. 危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。重要「重要」は製品の構造などについての注意点を、注はその他の注意点を表しています。

はじめに

この振動プラウは Toro コンパクトツールキャリア用のアタッチメントであり、フレキシブルパイプやケーブルを地中に引きこみ埋設するための装置です。この装置は、専門的訓練を受けたオペレータが、散水配管や電気配線を、その全長にわたって埋設用の溝を掘削することなく配設を行うための装置です。この機械は本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険な場合があります。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からないまた適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができます www.Toro.com

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1 にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

重要シリアル番号デカルについている QR コード無い場合もありますをモバイル機器でスキャンすると、製品保証、パーツその他の製品情報にアクセスできます。

目次

安全について	3
安全上の全般的な注意	3
斜面での安全確保	4
振動ブラウに関する安全上の注意事項	4
安全な保守整備と格納保管	4
安全ラベルと指示ラベル	5
製品の概要	5
仕様	5
運転操作	6
アタッチメントを取り付ける	6
アタッチメントを取り外すには	6
ブレードを取り付けるには	6
ブラウ作業	7
ブラウの深さについて	7
移動走行位置	8
ブラウを搬送するとき	8
ヒント	8
保守	10
推奨される定期整備作業	10
ブラウのグリスアップ	10
ギアオイルの点検と交換	11
コールドターンの交換	11
保管	12
故障探究	13

安全について

▲ 危険

この機械で掘削する現場の地中に、電線などが埋設されている可能性があります。これらを誤って破損すると、感電や爆発などの事故に発展する可能性があります。

事故防止のため、作業現場を前もって精査し、埋設物を確認し、マーキングするなど、適切な措置をとってください。必要に応じ、電力会社やガス会社に連絡して正確な埋設場所を特定、マーキングしてもらうなどしてくださいたとえば米国では電話811で、またオーストラリアでは電話1100で国中のどこでもこのサービスを受けることができます。

安全上の全般的な注意

重傷事故や死亡事故を防ぐため、注意事項を厳守してください。

- 最大積載量を超えないようにしてください機体が安定を失い、制御できなくなる恐れがあります。
- **アームを上昇させたままやアームを伸ばしたまま移動走行しないでくださいアタッチメント搭載時。**移動走行時は、アタッチメントをできるだけ地表面に近い状態に維持してください **移動走行位置 (ページ 8)**を参照。
- 事故防止のため、作業現場を前もって精査し、埋設物その他の障害物を確認してマーキングするなど、適切な措置をとってください。
- 本機をご使用になる前に必ずこの**オペレーターズマニュアル**をお読みになり内容をよく理解してください
- この機械を運転する時は常に十分な注意を払ってください。運転中は運転操作に集中してください注意散漫は事故の大きな原因となります。
- 子供やトレーニングを受けていない大人には、絶対に運転をさせないでください
- 稼働中の機器やアタッチメントに手足を近づけないよう注意してください。
- ガードなどの安全保護機器が正しく取り付けられていない時は、運転しないでください。
- 作業中は人や動物を十分に遠ざけてください。
- 整備、燃料補給、詰まりの解除作業などを行う前には、必ず停止し、マシンを OFF にし、キーを抜き取ってください。

間違った使い方や整備不良は負傷などの人身事故につながります。事故を防止するため、以下に示す安全上の注意や安全注意標識 ▲ のついている遵守事項は必ずお守りください「注意」、「警告」、および「危険」の記号は、人身の安全に関わる注意事項を示しています。これらの注意を怠ると死亡事故などの重大な人身事故が発生する恐れがあります。

斜面での安全確保

- 斜面を上りながら、あるいは下りながら作業をする時は、機体の重い方の側を山側にしてください。重量の分布はアタッチメントによって変わります。このアタッチメントは、装着すると機体の前方が重くなります。
 - 斜面でローダーアームを上げたり伸ばしたりすると、安定が悪くなります。斜面ではローダーアームを下げて縮めておいてください。
 - 斜面はスリップや転倒などを起こしやすく、これらは重大な人身事故につながります。どんな斜面や不整地であっても、通常以上に十分な注意が必要です。
 - 斜面での運転についてルールや手順を決めておきましょう。その際、各刈り込み現場の实地調査を行い、それぞれの斜面の角度が機械の乗り入れに安全な範囲にあるかどうかを調べてください。この調査においては、常識を十分に働かせてください。
 - 斜面では速度を落とし、安全に十分注意してください。地表面の状態は、マシンの安定性に大きな影響を与えます。
 - 斜面での発進・停止は避けてください。坂を上れないと分かったら、そのままゆっくりとまっすぐに坂を下りてください。
 - 斜面での旋回は避けてください。斜面で旋回しなければならぬ場合は、機体の重い側を山側にしてください。
 - 斜面ではどんな動作でもゆっくり、少しずつ行ってください。急旋回したり不意に速度を変えたりしないでください。
 - 斜面での作業に自信が持てない時は、作業を行わないでください。
 - 凸凹のある地形では機体が転倒する恐れがあります。穴やわだち、隆起に十分注意してください。深い芝生に隠れて障害物が見えないことがあります。
 - ぬれた面の上で作業するときは安全に特に注意して行ってください。大変すべりやすく、スリップを起こすと危険です。
 - マシンが進入できるしっかりした地盤であることを確認してください。
 - 以下のような場所では、運転に特に注意してください
 - 段差のある場所
 - 溝の近く
 - 小高く盛り上がっている場所
 - 池などの近く
- 万が一クローラが段差や溝に落ちたり、地面が崩れたりすると、機体が瞬時に転倒し、非常に危険です。必ず周囲から安全距離を確保してください。
- 斜面では、アタッチメントの着脱をしないでください。
 - 法面には駐車しないでください。

振動プラウに関する安全上の注意事項

- 運転中は非常に大きな音が出ます。聴覚保護具を使用してください。
- プラウは常時低い位置に保持してください。
- 旋回はゆっくりと、安全に十分注意しながら行ってください。
- 運転中は周囲 2 m 以内に人を近づけないでください。
- 車輪タイプのマシンで使用する場合には、トラクションユニットにカウンタウェイトを搭載してください。

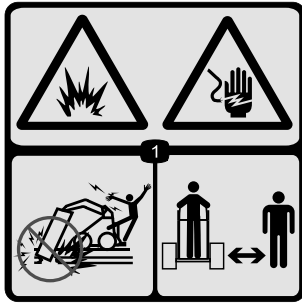
安全な保守整備と格納保管

- 安全作業ができるように、締結具の点検を頻繁に行ってください。
- このアタッチメントを長期間にわたって外して保管する場合には、オペレーターズマニュアルの説明に従ってください。
- 機体に貼ってある安全ラベルや説明ラベルは必要に応じて新しいものに貼り替えてください。

安全ラベルと指示ラベル



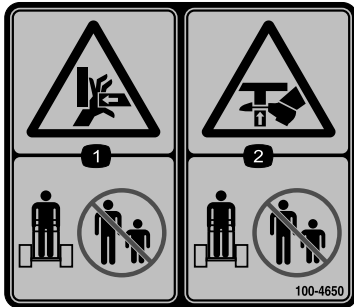
以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



100-4649

decal100-4649

1. 爆発の危険 感電の危険 地中に電線が埋設されている場所で使用しないこと 周囲に人を近づけないこと。



100-4650

decal100-4650

1. 手を押しつぶされる危険 人を近づけないこと。
2. 足を押しつぶされる危険 人を近づけないこと。

WARNING: Cancer and Reproductive Harm - www.P65Warnings.ca.gov.
For more information, please visit www.ttcoCAProp65.com

133-8061

133-8061

decal133-8061

製品の概要

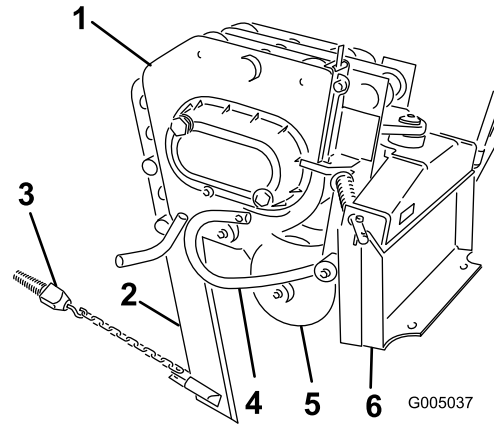


図 3

g005037

1. 振動プラウのボディ
2. ブレード数種類から選択可能
3. プラウ数種類から選択可能
4. ゲージロッドアセンブリ
5. コールター
6. 取り付けプレート

仕様

注 仕様および設計は予告なく変更される場合があります。

幅	73.6 cm
長さ	89 cm
高さ	60 cm
重量	181.5 kg
油圧モータの吐出量	1.27 in ³ /回転 (20.8 cc)
プラウのサイクル	2,000 VPM

いつも最高の性能と安全性を維持するために、必ずToroの純正部品をご使用ください。他社の部品やアクセサリを御使用になると危険な場合があります、製品保証を受けられなくなる場合がありますのでおやめください。

運転操作

アタッチメントを取り付ける

取り付けの手順についてはトラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照してください。

重要アタッチメントの取り付けは、平らな面の上で、マウントプレートにごみなどが付着していないこと、ピンが自由に回転することを確認して行ってください。ピンが回りにくい場合はグリスを塗ってください。

注 アタッチメントの吊り上げや移動は必ずトラクションユニットで行ってください。

警告

クイックアタッチピンをアタッチメント取り付けプレートに確実に通しておかないと、アタッチメントがトラクションユニットから外れ落ち、人身事故となる危険がある。

ピンが確実にハマっていることを確認すること。

警告

高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。万一、油圧オイルが体内に入った場合には、この種の労働災害に経験のある施設で数時間以内に外科手術を受けないと壊疽えそを起こす。

- 油圧装置を作動させる前に、全部のラインコネクタが適切に接続されていること、およびラインやホースの状態が良好であることを確認すること。
- 油圧のピンホールリークやノズルからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけない。
- リークの点検には新聞紙やボール紙を使い、決して手で直接確かめない。

注意

油圧カプラ、油圧ライン、油圧バルブ、作動油は高温になる。不用意に触ると火傷を負う危険がある。

- 油圧カプラを扱うときは手袋を着用する。
- 油圧システムの部品に触れるときは、機械が冷えるのを待って行う。
- 作動オイルがこぼれたときは、手で触らない。

アタッチメントを取り外すには

- プラウを床面から浮かせた状態でエンジンを停止し、キーを抜き取る。

2. ブレードをプラウに固定している下リンチピンとクレビスピンを外す。

注 ブレードを完全に外すには、上下のリンチピンとクレビスピンを外してください 図 5 を参照。

3. ブレードを上げて、図 4 のようにリンチピンとクレビスピンで固定する。

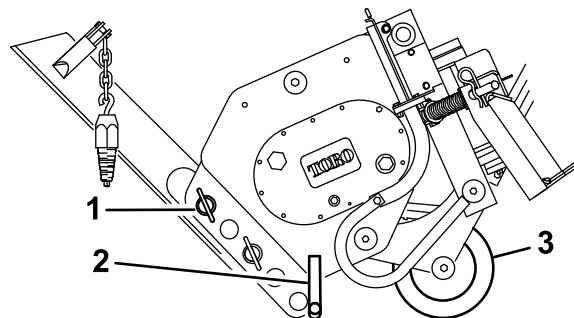


図 4

g247050

1. リンチピンとクレビスピン
2. スタンド
3. コールター

4. プラウを前方に傾けて床面トレーラの荷台まで下げ、スタンドとコールターでプラウの重量を支える形にする 図 4。
5. 油圧ホースの接続を外し、トラクションユニットのオペレーターズマニュアルに従ってプラウを外す。

ブレードを取り付けるには

ブレードとプラウは数種類から選択可能です。代理店にてお買い求めください。

警告

ブレードは鋭利であり、取り付けや取り外しの最中に誤って手足を切断したりする事故が起こり得る。

ブレードに関わる作業を行う時は手袋と安全靴を着用し、ブレードを確実に保持すること。

1. 平らな場所に停車し、駐車ブレーキあればを掛ける。
2. プラウを床から 1 m 程度上昇させ、シリンダロックを取り付ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。
4. ブレードブラケットについているクレビスピンからリンチピン 2 本を取り外してクレビスピンを抜き取り 図 5 既存のブレードが付いている場合はを外す。

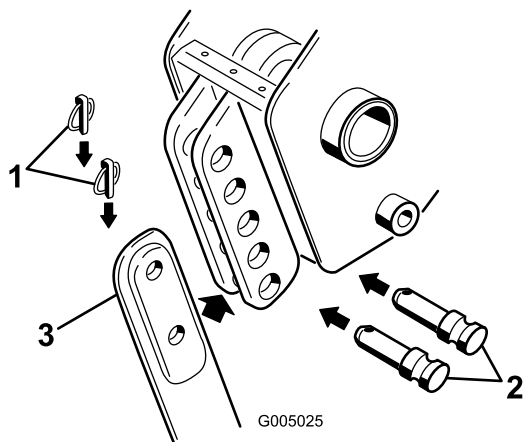


図 5

G005025

1. リンチピン
2. クレビスピン
3. ブレード

5. ブレードブラケットに新しいブレードを取り付け、希望する位置取り付け穴を1つ変更することに7.6 cmの変更となるに固定する先ほど取り外したクレビスピンとリンチピンで固定する 図 5。

プラウ作業

1. 各リンチピンをスプリングロッドの外側の穴に移動させる。これによりプラウが左右に移動できるようになる 図 6。

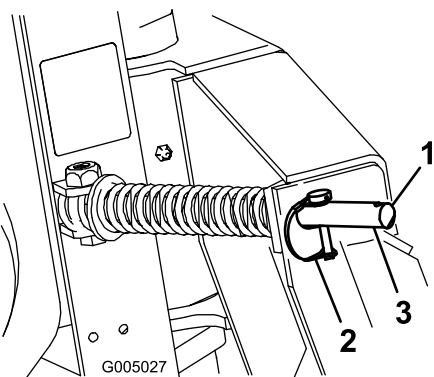


図 6

G005027

1. 外側の穴
2. リンチピン内側の穴に入っている
3. スプリングロッド

▲ 注意

リンチピンを外した時にプラウが落ちてきて人に当たったり機体にぶつかって機体を不安定にする可能性がある。

リンチピンを外す時は、プラウをニュートラル位置に確実に保持しておくこと。

2. プラウに取り付ける資材を取り付ける。

3. 速度セレクト付きのマシンでは速度を低速亀マークにセットする。
4. エンジンを掛ける。
5. アタッチメントプレートにKちばん後ろまで倒してプラウの上部が地表面と平行になるようにする 図 8。
6. プラウを地表面まで降ろす。

重要 補助油圧レバーを操作する前に、必ず、プラウが地上または地中にあることを確認してください。宙吊りのままで動作させると激しい振動が発生し、機器を損傷する恐れがあります。

注 穴を掘ってそこにプラウを配置するようにすると、ブレードが曲がってしまう危険を減らすことができます。

7. 補助油圧レバーをハンドル側に引くとプラウが作動を開始する。
8. トラクションユニットを後退させながら、プラウを希望する深さまで降ろす。
9. 引きこみ作業が終了したら、補助油圧レバーから手を離してプラウを停止させる。

▲ 注意

斜面で引きこみ作業をしている場合、プラウを地中から引き出した時にプラウが谷側に振れる可能性がある。プラウが振れると、その重量でトラクションユニットが倒れてオペレータや周囲の人間が怪我を負う危険がある。

斜面で作業をする時は、プラウを地中から引き出す操作をゆっくりと行い、ブレードが地中にある状態でプラウが振れるようにすること。

10. プラウを地表面から十分に高く上げて、プラウを地中から引き出す。
11. トラクションユニットを後退させて資材電線やパイプを適当な長さだけ引き出し、その後、すこし前進させて資材にたるみを持たせる。
12. エンジンを止め、キーを抜き取る。

プラウの深さについて

通常は、ブレードの取り付けてその最大深さで引きこみ作業を行います。プラウにはゲージがついていますので、最大深さよりも浅い深さで作業を行うことも可能です。

ゲージはプラウの左側に、トラクションユニットに向かってついており、ゲージから地表面にロッドアセンブリが出ています 図 8。プラウを引き上げるとゲージのインジケータが下がります。ゲージのマークは、現在の最大深さ設定からのプラスマイナスをインチで表示します 図 7。表示範囲は +2 から -3 です。ゲージの読みが +2 のときは、露出面よりも 2"5.0 cm 下、-3 のときは、3"

7.6 cm上という意味になります。読みが0のときは、ブレード深さにオフセットがない状態です。

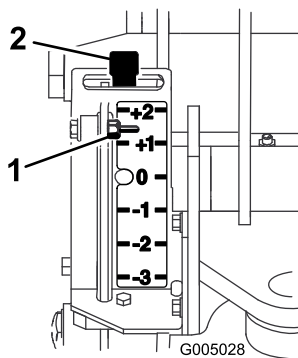


図 7

g005028

1. 深さゲージ 2. ゲージロックバー

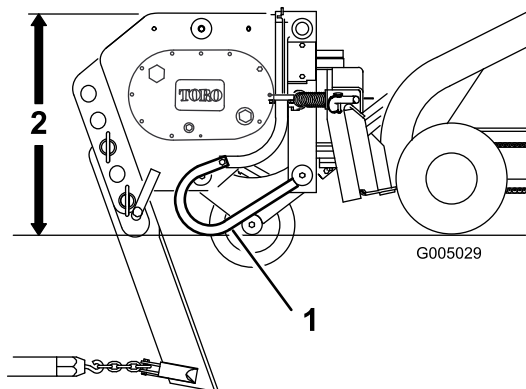


図 8

g005029

1. ゲージロッドアセンブリ 2. 地表面に平行

裸地で作業を行っている時は、ゲージの0が最大深さとなります。最大深さよりも更に深く+1 マークまで下げることが可能ですが、この状態ではコルター軸が地表面に接触するようになります。これ以上上げるとコルターを損傷する可能性があります。

芝生で作業を行っている時は、芝草の厚みのために、ゲージの表示が実際よりも2.5 cm程度低くなります。そのような場合には、希望するコルター深さまでプラウを下げ、ゲージを見ながら作業してください。

不整地で作業したり、不整地を搬送したりするときは、ゲージを保護するために+2の位置に固定しておくことができます。ゲージを固定するには、ゲージを手で+2の位置に引き出し、ロックレバーを左に動かしてください。

移動走行位置

1. プラウを床面から浮かせた状態でエンジンを停止し、キーを抜き取る。
2. ブレードをプラウに固定している下リンチピンとクレビスピンを外す。

注 ブレードを完全に外すには、上下のリンチピンとクレビスピンを外してください 図 5を参照。

3. ブレードを上げて、図 4 のようにリンチピンとクレビスピンで固定する。
4. 搬送する場合は、地面に出来るだけ近い位置に保持してください。地表面から 15 cm 以上の高さには上げないでください。アタッチメントを後に倒す。

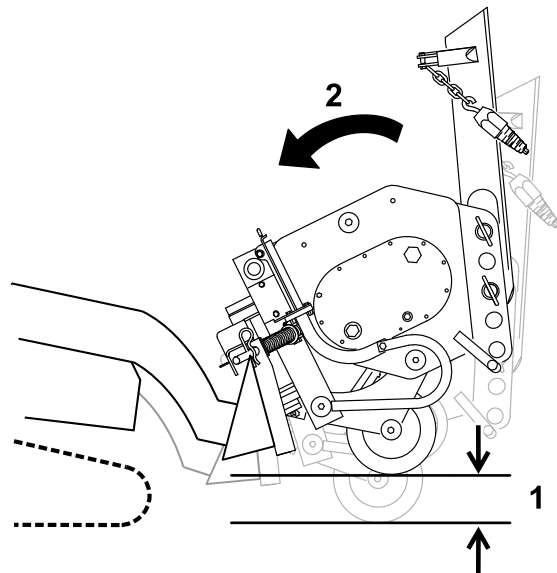


図 9

g245785

1. 地表面から 15 cm 以上の高さにしな
2. アタッチメントを後に倒す。

プラウを搬送するとき

1. リンチピンをスプリングロッドの内側の穴に移動して左右の動きを止める 図 6。

▲ 注意

プラウを固定しないとプラウが左右に触れて不安定になる。プラウが振れると、その重量でトラクションユニットが倒れてオペレータや周囲の人間が怪我を負う危険がある。

プラウを搬送するときには、必ずリンチピンをスプリングロッドの内側の穴に移動してプラウを固定すること。

2. ブレードが床面からわずかに上がるまでローダアームを上昇させる。

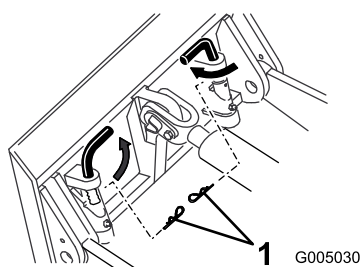
重要重要絶対に、アームを一番上まで上げた状態では搬送しないでください。

ヒント

- 古いモデルのトラクションユニットでは、取り付けプレートに、スプリングローラーとクイックアタッチピンを貫通する穴が付いているものがあります 図 10。長い距離を引く時には、ここにヘアピンコッター2本を取

り付けます。これにより、プラウの振動によってピンがゆるまなくなります。

注 新しいトラクションユニットのクイックアタッチピンでは、ヘアピンを取り付ける必要はありません。



g005030

図 10

1. ヘアピンコッター

- トラクションユニットが駆動チェーン方式の場合、チェーンの損耗を低減するために、チェーンの上側のたるみが 5 cm になるようにチェーンの張りを調整してください。トラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照。
- 機体を損傷させないように、使用前に作業場所からごみ、木の枝、石などを取り除いてください。
- 作業開始時は一番遅い走行速度で、状態を見ながら、可能であれば速度を上げますが、タイヤクローラが空転しない程度としてください。空転するとターフが傷むだけでなく、トラクションユニットに無用な負担がかかります。
- 作業中、エンジンは常に最高速度フルスロットルで運転してください。
- 必ず、後進で作業してください。
- 速度セレクトアやフローデバイダが付いているトラクションユニットでは、セレクトアを低速亀マークにセットし、フローデバイダは 10 時の位置にセットしてください。
- 作業中は急な旋回を避けてください。その方が能率が上がり地表面もきれいに仕上がります。
- タイヤ式のトラクションユニットで、農業用またはサイトワークシステム用のタイヤを装着している場合には、それらのタイヤの左右を入れ替えてください。右タイヤを左側に、左タイヤを右側に。

注 これにより、タイヤのトレッド方向が後ろ向きになり、後進でプラウを引いた時に最も大きな牽引力を発揮することができます。

保守

推奨される定期整備作業

整備間隔	整備手順
使用することまたは毎日	・ プラウをグリスアップする。
25運転時間ごと	・ オイル量を点検する。
200運転時間ごと	・ ギアオイルを交換する。
長期保管前	・ プラウをグリスアップする。 ・ オイル量を点検する。 ・ 機体の塗装がはげていればタッチアップ修理をする。

▲ 注意

始動スイッチにキーをつけたままにしておくと、誰でもいつでもエンジンを始動させることができ、危険である。

整備作業の前には必ずキーを抜いておくこと。

プラウのグリスアップ

整備間隔: 使用することまたは毎日

長期保管前

図 11-図 14 に示す 6 か所のフィッティングに、8 運転時間ごとにグリスを補給する。洗浄後は毎回すぐに行うこと。

グリスの種類汎用グリス

1. 平らな場所に駐車し、補助油圧レバーを解除し、アタッチメントを降下させ、駐車ブレーキがある場合には駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンを止め、キーを抜き取る。
3. フィッティングにグリスガン进行接続する。
4. ベアリングからグリスがはみ出てくるまでグリスを入れる。
5. はみ出したグリスはふき取る。

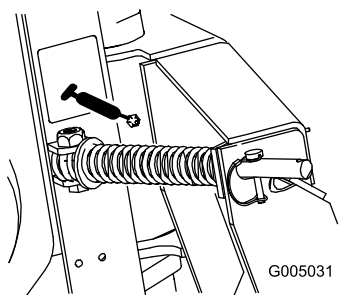


図 11

g005031

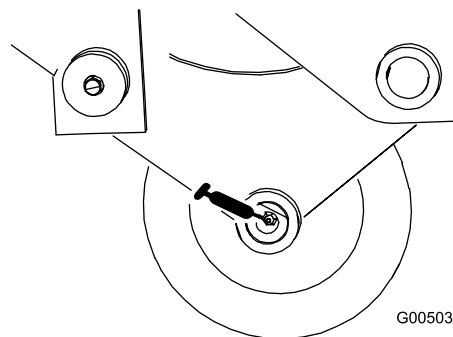


図 12

g005032

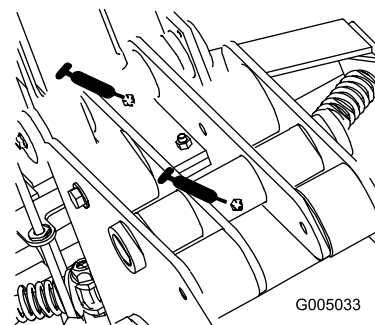


図 13

g005033

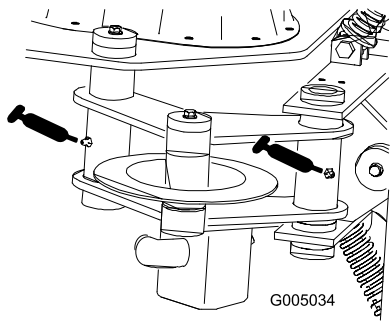


図 14

G005034

ギアオイルの点検と交換

ギアオイルの種類 SAE 90-140 API 規格 GL-4 または GL-5

オイルの量 1.4 リットル

オイル量の点検

整備間隔: 25 運転時間ごと

長期保管前

1. 平らな場所に駐車し、補助油圧レバーを解除し、アタッチメントを降下させてプラウを床面まで降ろす。駐車ブレーキを掛ける装備車の場合。
2. エンジンを止め、キーを抜き取る。
3. ギアケース側面にある透明ガラス窓でオイル量を確認する 図 15。

注 ゲージ中央にある赤い丸までオイルがあれば適正とする。

4. オイルが不足している場合には、補給プラグ 図 15 を外して適正量までオイルを補給する。

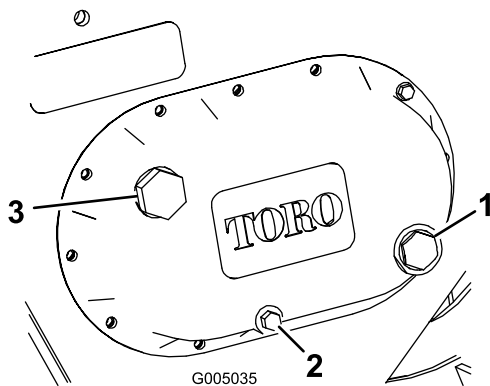


図 15

G005035

1. ガラス製ゲージ
2. ドレンプラグ
3. 補給プラグ

5. 補給プラグを取り付ける。

ギアオイルの交換

整備間隔: 200 運転時間ごと/1年ごと いずれか早く到達した方

1. 平らな場所に駐車し、補助油圧レバーを解除し、アタッチメントを降下させてプラウを床面まで降ろす。駐車ブレーキを掛ける装備車の場合。
2. エンジンを止め、キーを抜き取る。
3. 適当な廃油受けをプラウの下に置く。
4. ドレンプラグ 図 15 を抜き取り、排出されるオイルを容器で回収する。
5. 排出が終わったらドレンプラグを元通りに取り付け、確実に締め付ける。
6. 補給プラグ 図 15 を外して適正量ゲージの赤い丸印までオイルを補給する。
7. 補給プラグを取り付ける。

コールターの交換

コールターが破損したり摩耗が進んだりした場合には交換してください。

1. 平らな場所に駐車し、補助油圧レバーを解除し、アタッチメントを降下させ、駐車ブレーキがある場合には駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンを止め、キーを抜き取る。
3. コールターピンのねじを 1.3 cm ほどゆるめ、ハンマーで数回たたいてピンをゆるめる 図 16。

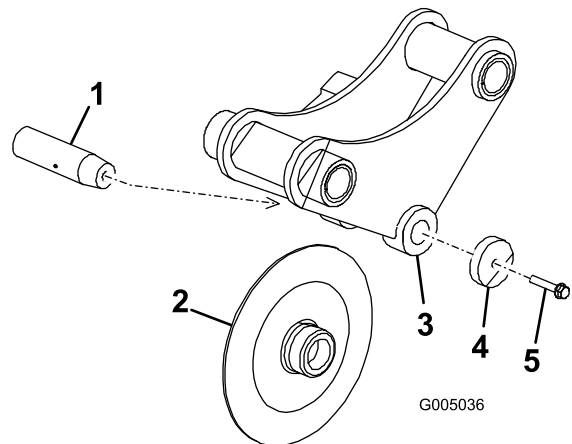


図 16

G005036

1. コールターピン
2. コールター
3. コールターブラケット
4. ワッシャ
5. コールターピンのねじ

4. コールターピンのねじ、ワッシャ、コールター、コールターピンを全部外す 図 16。
5. コールターブラケットに新しいコールターを取り付ける 図 16。

6. コールターとブラケットにコールターピンを通し、ワッシャとコールターピン用ねじとで固定する [図16](#)。
7. ねじを $61 \text{ N}\cdot\text{m}$ $6.2 \text{ kg}\cdot\text{m} = 45 \text{ ft}\cdot\text{lb}$ にトルク締めする。

保管

1. アタッチメントを長期にわたって格納保管する場合には、洗剤と水で汚れを落とす。
2. プラウをグリスアップする。
3. ギアケースのオイル量を確認する。
4. 機体各部のゆるみを点検し、必要な締め付けや交換、修理を行う。摩耗・破損したパーツは交換する。
5. 油圧カップラが適切に接続されており、汚染の心配がないことを確認する。
6. 機体の塗装がはげていればタッチアップ修理をする。ペイントは代理店で入手することができる。
7. 汚れていない乾燥した場所で保管する。ほこりなどが付かないようにカバーを掛けておく。

故障探究

問題	考えられる原因	対策
プラウが動かない。	<ol style="list-style-type: none">1. 油圧カップラの接続が不完全。2. 油圧カップラが破損している。3. 油圧ホース内の流れが邪魔されている。4. 油圧ホースが折れている。5. トラクションユニットの補助油圧バルブが開いていない。	<ol style="list-style-type: none">1. 全部のカップラを点検する。2. カップラを点検し不良品を交換する。3. ホースの障害を発見・除去する。4. ホースを交換する。5. バルブを修理する。

メモ

メモ

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Avenue South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
22911	404320000 以上	振動プラウ	VIBRATORY PLOW ATTACHMENT CE	振動プラウ	2006/42/EC

2006/42/EC 別紙 VII パートB の規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み

権限を有する代表者



Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

Chad Moe
上級エンジニアリングマネージャ
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
10月 17, 2022

UK Declaration of Incorporation

The Toro Company, 8111 Lyndale Avenue South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
22911	404320000 以上	振動プラウ	VIBRATORY PLOW ATTACHMENT CE	振動プラウ	S.I. 2008 No. 1597

S.I. 2008 No.1597のSchedule 10に基づいて、関連する技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

This declaration has been issued under the sole responsibility of the manufacturer.
The object of the declaration is in conformity with relevant UK legislation.

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro U.K. Limited
Spellbrook Lane West
Bishop's Stortford
CM23 4BU
United Kingdom



Chad Moe
上級エンジニアリングマネージャ
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
10月 17, 2022

欧州におけるプライバシー保護に関するお知らせ

トロが収集する情報について

トロ・ワランティール・カンパニーは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるように、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

トロによる情報の利用

トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

あなたの個人情報の保管について

トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

弊社はあなたの個人情報の流出を防ぎます

トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

あなたの個人情報を訂正したい場合などのアクセス方法

ご自身の個人情報を確認・訂正されたい場合には、legal@toro.com へ電子メールをお送りください。

オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。

カリフォルニア州第65号決議による警告

この警告は何？

以下のような警告ラベルが貼られた製品を見かけることがあるでしょう



警告ガンおよび先天性障害の恐れ —www.p65Warnings.ca.gov.

Prop 65 って何？

Prop 65 は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならないと定められています。危険物リストは、日常生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。Prop 65 の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

Prop 65 は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めています。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、Prop 65 警告はその製品が安全か安全でないかを示すものではないと説明しています。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されてきておりますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへ<https://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all>

Prop 65 の警告は、以下のうちのどちらかを意味していますある企業が自社製品への化学物質の使用量について評価したところ、目立った危険は何一つないとされる基準を超えていることがわかった、または (2) 製品に使用している化学物質は法律で規制されているものだったので、特に評価を行うことはせず、法に従って警告文を添付することにした。

この法律は全世界に適用されるのですか

Prop 65 警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。Prop 65 警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカタログなどにも掲載されています。

カリフォルニア州の警告と連邦政府の上限との関係は

Prop 65 の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが大変多いです。Prop 65 の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、Prop 65 では表示義務があるものが数多く存在します。たとえば、Prop 65 の基準では、一日当たりの鉛の排出量が 0.5 マイクログラムとなっており、これは連邦政府の基準や国際基準よりもはるかに厳しい数値です。

似たような製品なのに警告が付いていないものがあるのはなぜ

- カリフォルニア州内で販売される場合には Prop 65 ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- Prop 65 関連で裁判となった企業が、和解条件として Prop 65 警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- Prop 65 の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、Prop 65 基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないとは言えません。

なぜ Toro 製品にはこの警告が表示されているのですか

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることがベストであるという考えから、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro では、自社の製品に含まれる化学物質の量が「重大なリスクはない」レベルであると認識した上で、あえて Prop 65 警告の表示を行うという選択をしております。これはまた、もし Toro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、Prop 65 の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。



Count on it.